

## 平成 21 年度の主な事業の概要

### [兵庫医科大学]

#### ・新入試制度の導入

- ①受験者の居住本拠を指定した推薦入試の導入（地域枠）：志願者 12 名、合格者 4 名
- ②特定の診療科を志望する学生の確保（新奨学金制度の導入）：志願者 24 名、合格者 1 名
- ③大学入試センター試験を利用した入試制度の導入：志願者数 629 名、合格者 16 名
- ④一般試験入試日の早期化による志願者の確保：志願者数 2,248 名、合格者 106 名

#### ・兵庫医科大学国際交流センターの設置

海外の大学との交換学生や外国人研究者の受入れなどを業務として行う部署をあらたに設置し、本学における教育及び研究の国際交流を推進する。5 学年次学生の留学生の派遣及び受け入れ実績を以下に記す。

- 派遣：・米国コロンビア大学（2 名：4～5 月期 4 週）  
・米国ワシントン大学（10 名：8 月期 1 週）  
・クロアチア共和国リエカ大学（3 名：8～9 月期 4 週）  
・中国汕頭大学医学院（5 名：9 月期 1 週）

受け入れ：・リエカ大学から 10 月 5 日～30 日 3 名の学生を受け入れた。

### [兵庫医科大学病院]

#### ・医療収入の確保（病床運営・目標患者数）

- ①平成 21 年度一般の 1 日平均在院患者数は 693.7 人（精神 44.7 人）、退院は 1 日平均患者数 53.0 人で、外来は平均患者数 2,201.5 人（他科受診除く）であり、平均在院日数は 13.1 日である。稼働率は、一般 87.3%で平成 20 年度に比し 1.8%改善している。
- ②医療収入については、26,131,769 千円(入院 18,583,608 千円、外来 7,014,731 千円、室料差額 533,430 千円)で、平成 21 年度医療収入見込みに比し、932,761 千円上回った。

#### ・入退院管理室（仮称）の設置

平成 21 年 6 月に入退院管理室を設置し、*オダリング* を利用した入退院管理を行うため、入院予約患者一覧の不要データの整理及び削除作業を継続している。平成 21 年度の平均在院日数は 13.1 日で昨年度より 0.4 日短縮した。

#### ・治験センターの強化

- ①治験支援活動の充実については 7 月にホームページを完成させ、申請関係書式、手順書、治験実績等を公開した。
- ②治験研究費について、10 月よりポイント表及び単価の改正、費用納入方法の変更を実施した。また、依頼者より要請の多かった直接閲覧でのインターネット環境整備に着手した。
- ③Phase1 試験は検討を開始し、マイクロアレイ試験については治験支援専門業者へ可能性の検討を依頼している。

- ・ **1号館及びトレンチ（1～3号館）の各種配管改修・更新工事**

1号館病棟系統空調用冷温水・蒸気配管更新工事及びトレンチ（1～3号館）内配管更新工事を完了した。

#### **[兵庫医科大学篠山病院・ささやま老人保健施設]**

- ・ **篠山病院整備工事**

篠山市、学校法人兵庫医科大学及び兵庫県の3者が、篠山病院の運営と整備に関する基本協定書を締結し、近代化及びへき地医療の補助金を申請し、平成21年4月より篠山病院(180床)の建替整備に着手した。

- ・ **篠山病院の情報システム構築**

電子カルテシステムを中心とした病院情報システムを新病院に導入する。平成21年度は上期中に導入計画段階からシステム構築段階へ進み、平成22年度初頭の新病院棟竣工に合わせて本稼働させる。

#### **[兵庫医療大学]**

- ・ **大学院設置計画立案と文部科学省申請準備**

平成23年4月の開設を目指して、大学院基本構想案及び設置計画案を取り纏めた。また、平成22年5月の設置認可申請に向けて申請書類を作成し、平成22年3月の大学協議会・常務会・理事会・評議員会において「兵庫医療大学大学院設置認可申請書」を付議し、承認を得た。

- ・ **キャリアデザインセンターの開発と活動**

医療専門職者としての就職活動支援、生涯教育のための支援、社会人としてのスキルアップのための支援等のキャリアデザイン業務を構築する。センターの企画・立案並びに活動を実行するため、教職員によって構成するキャリアデザイン委員会（仮称）を設置し、各学部学科の教育活動と協働して行い、的確な就職支援を提供できる体制を構築する。

- ・ **既存キャンパスの教育環境の整備**

下記の施策を実行した。

- 1) 実習室の講義室兼用化
- 2) 図書館の閲覧席の増設
- 3) M・G棟に昼食用売店開設及びテーブル席の増設による食事スペースの分散化
- 4) 救急時対応設備、サインの整備
- 5) キャンパス有効利用委員会を設置し、次年度以降も引続き教育環境の整備・学生アメニティの向上に当たる基盤ができた。

## [法人]

- **学校法人兵庫医科大学基金の拡充**

学校法人兵庫医科大学基金のもと、役員、教職員等、退職者、名誉教授、本学取引業者、本学関連病院に対して、募金活動を行う一方、学校法人兵庫医科大学萌えの会において、会員の拡充及び組織の強化を図ると共に、篤志家等に対して、募金活動を行う。

- **物流センターの本格稼働**

調達・物流体制の抜本的な見直しにより、病院各部門での調達業務の合理化等の整備を行い、法人全体の物流を統括することにより、経営改善を図る。また、篠山病院、兵庫医療大学等の購入物品・役務契約等も一元管理を行い、医療経費削減と経営基盤強化を図る。

- **医療人育成センターの整備**

兵庫医療大学と兵庫医科大学が連携して医療専門職者の卒前臨床教育を包括的に推進する。また、卒後教育を拡充するために、施設整備・人員配置・機能等を整備する。

設置場所：兵庫医科大学附属看護専門学校跡地 1～4階フロア